

善了寺ニューズ7月号

今月の主なメニュー

- 1, 善了寺日記
- 2, 行事案内
- 3, お知らせ
- 4, 住職雑感

発行責任：浄土真宗本願寺派
善了寺住職 成田智信
第229号
発行日：平成27年7月1日

善了寺日記

不安定な天気が続くなか皆さんいかがお過ごしでしょうか。

本堂ストローベイルワークシヨップ

総事に終えることができました。

お知らせしていた本堂の壁を皆さんと一緒に創るストローベイルワークシヨップを無事に終えることができました。ありがとうございました。六月二〇日(土)～六月二十五日(木)まで、期間中に一日休日を除いて、計五日間、のべ〇〇名以上の方々のご参加を頂きました。当初予定より多くの方々のご参加を頂き、ワークシヨップ後半にお申込みいただいた方々には、ご参加をお断りしなければならず本当に心苦しく申し訳なく思っております。作業そのものも、参加された方々の熱意あふれる仕事ぶりに、はじめの三日間でほぼ壁が出来上がってしまい、スタッフ共々驚きを隠せませんでした。

聞思堂のワークシヨップが約三年前の出来事です。その時は、一か月近くの作業になりました。今思えば本当によくできたと思います。今回は、五日間で濃縮されたような期間でした。ご門徒のみ



なさんのご参加も多かったとき、本堂をみんな建てるといふ思いが形になっていくのだと実感しました。

なぜこのようなことを企画したのかその理由を幾度となくきかれますが、まず初めに「みなさんで建てたかった」と答えています。今、本堂に立つと御本尊様が光り輝きお慶びになつていらっしゃる姿が浮かびます。善了寺に関わるすべての人々の願いが、御堂の形で表れているからだと思います。建設協力金をおさめてくださる皆さん、今回ワークシヨップに参加してくださったみなさん、表には出なくとも善了寺を想ってくれている多くのみなさん、本当に有難く心から感謝申し上げます。

蓮如上人が廊下に落ちていた紙切れを拾い上げ、「一枚の紙もこれみな仏法領のもの(仏より恵まれたもの)、もったいない」と押し頂かれた話は有名です。お寺は、誰かの持ち物ではなく、阿弥陀如来さまから恵まれたお寺であった、本堂であったと頂く時、善了寺に関わるすべての人々が阿弥陀如来様の大慈悲に抱かれている同朋であったと思わずにはおれません。建築事業も大きな山場を一つ越えることができました。来年春の竣工まで、益々ご理解ご協力を頂きますようお願い申し上げます。



ほろ雑感

◎一面にも書きましたが、今回のワークショップでは、富山県から彙積みワークショップの指導として、吉本さん・岡部さん、そして土工事の指導として左官の古屋さんにご尽力いただきました。古屋さんは本堂の内壁を最後までご担当頂きますが、吉本さんは、今回の期間中だけのご縁でした。お話を伺いする中で、本堂の建築に対する熱い思いを聴かせていただきました。

◎自然と共に生きる建築のあり方をまじめに考えておられました。ユーモアあふれる姿の奥に、大きな夢を描いていました。その夢が、お寺をストロベリービルで建ててみたいというものでした。不思議なご縁から今回建築に関わることができたことを本当に喜んでおられました。

◎役員会の皆さまはじめ多くのご門徒の方々のご理解とご協力があったからこそ建築事業ですが、その根底に息づく阿弥陀如来様の「すべてのいのちを救いたい」という本願が、たくさんの人々との出会いを恵み、ご縁を与えてくださっているのだと味わうばかりです。

◎聞思堂は、稲わら、そして今度の本堂は麦わらです。様々な自然の恵みを受けて本堂が還ってきます。是非、お寺にお参りの際は、声をおかけください。みなさんと一緒に素晴らしい本堂をお迎えしましょう。



7月・8月の行事予定

定例法話会 7/8(水) 14時
本願寺派布教使 高見沢孝之師

親鸞聖人・浅井成海先生月命日
『今を生かされて』輪読会
7/16(木)14時

お寺のサマーキャンプ
※本堂新築中のため今年のサマー
キャンプはお休みします。

新盆法要 8/8(土)10時
※今年新盆を迎える方のみのご法要です。
定例法話会 8/8(土)14時
講師 法光寺住職 季平博昭師

お盆法要
8/13(木)~16(日)
期間中毎日10時・14時にご法要
全戦没者追悼法要ならびに
お盆門徒総法要
8/15(土)14時

みんなの墓所

善了寺 法輪廟

ご相談承ります。お寺までご一報ください。



発行責任 浄土真宗本願寺派善了寺 住職成田智信

メール: totuka@sol.dti.ne.jp ホームページ <http://www.zenryouji.jp/>

住所: 横浜市戸塚区矢部町125 電話: 045-881-0348 FAX: 045-881-0379